



東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡村岡町村岡2365
TEL:0796-98-1151・1161 FAX:0796-98-1168

法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール: info@houun.net

じゆかいえ

天台宗開宗1200年記念兵庫教区特別授戒会厳修

昨年より準備を致しておりました兵庫教区特別授戒会ですが、去る4月29日～30日に湯村・正福寺を会場に無事、終えることが出来ました。

期間中には中学生から85歳までの約320名の参加者の皆さんに授戒を受けて頂きました。当初180名程度の参加者を見込み準備を行っておりましたが、予想以上の参加者の増加で、4月29日の2座に加え、急遽4月30日の1座を追加し、計3座授戒の法要を行わせて頂きました。

伝戒和上を務めて頂きました三千院門跡・小堀光詮御門主には大変ご負担をお掛け致しました

が、とても85歳と思えない張りのあるお声で、やさしく授戒の意味を説いて頂きました。参加者の皆様には心深く伝戒和上の言葉が届いたことかと思えます。

法雲寺からは下記の7名の方がご参加下さいました。どうか授戒会での感動を大切にされ、今後の人生にご精進頂けますようお願い申し上げます。

法雲寺参加者(敬称略): 金田隆司・上田優・今岡信正・井上篤美・岡田静子・黒野はつえ・坂本光江

何故、授戒会なのか？

授戒会とは・・・「自分の内なる仏の芽を意識する儀式」という事になりましょうか？
何か分かったようで分からない説明ですが・・・

インドで仏教を起こされたお釈迦様は生まれながらの聖人でも、神でもなく、普通の人間でした。(釈迦族の王子でしたが)

その普通の人間であったお釈迦様は、どうも世の中が無常なものに思えてしょうがなかった。無常で有るが故にそこから様々な苦しみが生まれてくると、ため息ばかりつかれていたらしいです。そうは言っても一国の王子ですから、憂鬱な顔してため息ばかりもついて居られない、何とか気を張って王子としての自分を全うしようとするのですが、余計にその反動で人生が苦悩に満ちたものを感じられてしまう。そんな日々の中でお釈迦様は王子の身分である自分自身と訣別し、出家をされ山林に分け入り苦行の日々を過ごされます。

しかし、幾ら苦行を積んでも少しも心安らかにならず「悟り」と言われる境地にも近づくことが出来ない。「所詮私の様なものは悟りに向かないも



伝戒和上・小堀光詮三千院御門主

のかも知れない」と永年行っていた苦行を止め、苦行で疲れ切った身体を十分に休ませ、「悟れても悟れなくてもしょうがない」と肩の力が少し抜けた安楽な気持ちで、座禅を組み幾日か経過した朝方に、「悟り」と言われる真理を感得され、仏陀(仏・目覚めた人の意味)と成られ、ここで感得した真理を人々に知らせるために、仏教と言われる教団を起こされた。と伝えられています。

ここで考えて頂きたいのは、仏陀(仏)と言われ

る存在は、天から突然に与えられるものではなく、普通の人間が精進を重ねて、真理を感得できる心と身体の準備が出来て悟りを得、仏と成れるという過程です。更に言えば仏と言うのは仏像の如く固定化されたものでなく真実に目覚めた人(覚者)そのものを言うのかもしれませんが。

大乘仏教では元来、普通の人間が自分の精進と機会(縁)に恵まれれば仏となれる可能性を有すると言います。

天台宗の宗祖・伝教大師はこの考えを更に推し進めて、「山川草木 悉有仏性」とまで言います。(森羅万象全てに仏と成れる素質を有する)。

草木でも仏性(仏となれる可能性)を有しているならば、我々はお釈迦様と同じ人間ですから誰でも仏性を有して居ない筈は無いのです。我々は誰でも多かれ少なかれ仏となれる種(可能性)を有しているのに、日々の生活の中でそんな事にすら気づかない毎日を送っている訳です。(仏と成れる可能性を有する反面、魔と転ずる可能性も等しく有しているのも事実かと思えます)

全ての人がある仏性を自覚するための儀式、それが授戒会で有ったわけです。

今の世の中、善悪の判断基準がずれている大人が溢れ、そんな大人の姿を見て育った子供たちは、何のためらいも恐怖も持たずに他人を傷つけてしまう・・・当然の結果かも知れません。

社会がこれだけ混乱し、世情の乱れは甚だしいですが、これも我々が意識・無意識の内に自らまいた種によるものです。そして我々はその不安な世の中で生きていかねば成りません。

誰ももっと穏やかな社会になって欲しいものと願って止みません。社会の乱れを正していくのは政府でも権力者でもなく、その社会に属している人たちが自らの行いを省み、正していくほかはないと思います。

今回の授戒会は天台宗開宗1200年の祝いと言うだけでなく、天台宗や天台寺院が今、唯一できる社会浄化の試みでもあると位置づけ取組んできました。

今回の特別授戒会に参加されました皆さんは授戒会での思いを胸に、自分自身に誇りと自信を持ち、是非とも積極的にご自分の人生を歩まれ、引いては周囲の方々に少しでも良い影響を及ぼして頂けるようご期待いたします。

各座共、授戒会の前に1時間弱の説戒を受ける。
(栢木説戒師)



栢木説戒師の法話は
<http://www.houun.net>
で聞くことができます。



授戒の前に塗香と洒水で清める



代表が前で直接戒を授かる



若い年代の方も数多くご参加

兵庫教区檀信徒総会

本年は第5部(但馬地区)で行われる兵庫教区の行事が多くあり、その一つが去る6月10日温泉町夢ホールにて行われました兵庫教区檀信徒総会総会でした。

各お寺に檀信徒会があり、そのお寺が属している「部」には各寺院総代による部檀信徒会があり、それを束ねる教区単位には教区檀信徒会があります。

この教区檀信徒会ですが例年6月兵庫教区内6部を会場持ち回りで総会を開催いたします。本年は第5部(但馬地域)が当番となり、昨年7月より先にご報告した兵庫教区特別授戒会と並行して準備して参りました。

教区檀信徒総会では兵庫教区内各天台宗寺院住職・総代(計270名)の出席を得て、通常の会計及び行事の決算予算審議等を始め、各部(1~6部)代表による

「一隅を照らす運動」推進発表及び、実践者の表彰が行われました。

本年の総会ではボーイスカウト村岡1団(天台スカウト6団)の発足から今日まで36年の長期にわたり献身的に団の運営に尽力されて来ました

上田優団員長(法雲寺総代)に第5部の代表として表彰を受けていただきました。

また、総会の後の講演は「今後のお寺さんのあり方を思う」と題して、奈良吉野の金峯山修験本宗宗務総長の田中利典師に、各総代と住職が協力してお寺の活性化に取り組む様に提言を頂きました。

金田・上田・今岡各総代には前日の準備から当日の後片付けまでお付き合い頂きました。お世話をお掛けいたしました。



↑会場の「夢ホール」
一隅運動推進者表彰を受けた
上田総代↓



一二峠のぶな(無難)の木、倒れる

村岡山名の初代・山名禪高公の墓所があるほい一二峠。その御廟の横に墓所創設時に植えられた樹齢三百数十年のブナの大木が有ります。この春5月中旬、各地を襲った大風の影響でこのぶなの木の二股の一方が根元から裂けて倒れてしまいました。樹木の専門家によれば、「二股部分ほらに出来た洞内部の腐食が進み、重さと風

圧に耐え切れなくなった。木と言えども寿命があるんでしょな・・・」。ともかく倒れた一方は早急に処理を行いました。残った主幹のほうも土台が削れた状況で、今後何らかの方策が必要と思われる。

お近くをお通りの際は、ご検分下さい。来年は見れないかも知れません。



←昨年の秋(10月)たまたま撮影した写真。根元近くの二股箇所が裂ける。

倒木の根元に立つのは老僧かなりの大きさであることが分かる。 →



各所修繕整備のご報告

5月から6月にかけて、各所の修理及び整備が整いましたのでご報告致します。

①山号額新調:旧来の山号額は墨書を表装したものでしたが、旧山号額の揮毫をそのまま板に写し立体的に仕上げて頂きました。

②本堂欄間洗浄:本堂内陣と外陣を分ける欄間ですが、昔は極彩色の美しいもので有ったかと思えますが、150年間の歳月の為、随分くすんでい

ました。山号額新調に合わせ、洗浄をして頂きました。内部を簡単に洗浄しただけですが大分昔の雰囲気は蘇ってきました。



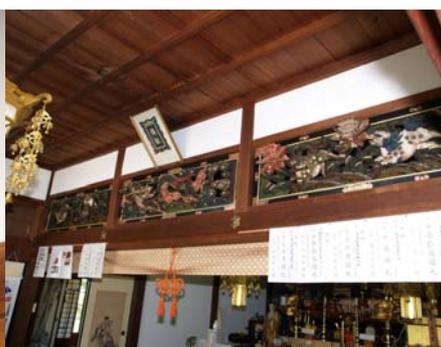
③山門脇塀の瓦交換:山門脇の塀の瓦ですが瓦を固定する番線が切れるなどして、瓦もずれていたのですが、この度交換させて頂きました。

以上、主だった修繕整備のご報告をさせて頂きませんが、お寺にお越しの際には改め

てご検分下さい。



①本堂前山号額新調



②本堂欄間洗浄



③山門脇塀瓦交換

縁側ガラス戸交換の件

本堂前廊下のガラス戸ですが、昭和30年代に昔の木戸から、現在のガラス戸に交換を致しました。以来40有余年に渡って使用して来たのですが、近年、建具自体も相当傷み、また、防犯上の観点からもガラス戸の交換を考えなければ成らないと思っていました。最近、複数の方から「協力させて頂くから、ガラス戸を交換されては？」とご提案頂きました。誠に有難いご申し出と感謝し、併せてこの際、奥の廊下のガラス戸もサッシに交換しようと考えています。

経費は概算160万円余り、全て発願の方々の好意に甘える訳にも行きませんので法雲寺としても工事経費捻出に留意いたしたいと思ひます。また、檀信徒の皆様でご協力いただける方が御座いましたら、お申し出下さい。

(工事は9月以降、詳細は随時お知らせ致します)

老朽化が目立つガラス戸



編集後記

4月末の特別授戒会が無事終わりに一息ついてます。今回は主催者ということで参加者の多さに驚き、結果として法雲寺の皆様にも積極的なお誘いが出来なかったこと少し残念に思っています。私自身、授戒会の準備を通して色々と感じ学ぶことも沢山ありました。授戒会に参加された方々と同じく今後は授戒会で得たものを少しでも周囲の方々に伝え出来ればと考えています。

特別寄進のご報告

H16/6

ご協力誠に有難う御座います。